



■「第2回総会」開催報告■

～原発ゼロ社会の実現に向けて～

6月26日(日)、『原発ゼロ市民共同かわさき発電所』は高津市民館にて第2回総会を開催しました。20名(+委任状17名)が参加、第1号議案から第6号議案までいずれも賛成多数で可決し、無事閉会しました。



提案する川岸卓哉理事長



平成27年度の活動報告としては、まず発電事業に関しては、1号機・2号機とも予測量をやや上回る発電をしております、順調に売電が行われています。イベント等においても、参加・協力して下さった方々のおかげで赤字になることなく、活動の普及や広報を行うことができました。当団体の目標である「原発ゼロ」を目指すアクションとしては、2015年7月に「再度、川内原発の再稼働に反対し、自然エネルギーの推進を求める緊急声明」

を表明したり、映画『日本と原発』の上映会や電力自由化に関する講演会を開催したりと、積極的に活動を行いました。ただ、残念ながら新規会員が目標に達せず、活動に際して一部メンバーに負担が集中してしまいがちなことから、今年度は新たな会員獲得が課題です。

今年度は、現在の発電事業を滞りなく継続しつつ、新規発電所の設置検討を続けるほか、発電以外に太陽熱利用なども新たに検討していく予定です。政策検討チームでは、完成が近づいた「川崎市再生可能エネルギー促進条例(市民案)」を地域団体や行政、市民、市議などとも合意形成を図っていきます。また、「原発ゼロ社会」の実現に向けて、より具体的に、「浜岡原発」にターゲットを絞り、勉強会を開催しつつ、アクションを検討していきたいと思っています。

ぜひ、今年度も引き続きご支援をいただけますようお願いするとともに、みなさまの周りの方々にも新たにご参加いただけるよう、お声をかけていただければ幸いです。一緒に「原発ゼロ」社会を実現しましょう！

副理事長 三枝 信子



■「総会記念講演」開催報告■

～市民が活かせる再エネ条例制定を目指して 条例案を掲げ動いて行く段階へ～



講師の増原直樹さん

定期総会に続き、記念講演「再生可能エネルギーを活用した地域づくり～市民・議員立法による条例制定の意義」を開催しました。講師は増原直樹さん（総合地球環境学研究所研究員）。増原さんは地域行政における環境政策に研究・実践の両面で積極的に取り組み、当会政策検討チームが作成中の「再エネ促進条例（仮・市民案）」のアドバイザーも引き受けて頂いています。政策検討チームでは、今年発足した「川崎地域エネルギー市民協議会」としての条例案提案を目指しており、今回の講演は、法人内外で議論をさらに活性化させたいと考えて企画しました。

学生時代からのご活動の遍歴をユーモアたっぷりに語った後、増原さんは地方自治体の立法・行政の構造がどうなっているかというお話から講演を開始。「この辺の話は寝られちゃうかなあ」と心配されていたそうですが、条例づくりには不可欠な知識を丁寧に説明していただきました。長年研究されてきたエネルギー条例の歴史や最新動向へと話をすすめ、条例を活用した地域づくりを4事例（鳥取県日南町、鎌倉市、小田原市、高知県土佐清水市）ご紹介くださいました。各自治体の特色をいかしているかどうか大切なポイントであることが分かりました。また“条例制定でこんな良いことがあった”（自治体財源の補助になった、使用エネルギーに占める再エネシェアが増えた、など）と具体的に示していくことが課題、とのことでした。



環境アセスメント条例などを取り上げ、「川崎市行政マンは環境行政では先取先進の気質をもっているはず、それを活かすような交渉を」と話した講師に対し、公害が大問題となっていた70年代から多彩な活動を続けているという参加者から、貴重なコメントもありました。「（川崎市の）議場で行政と市民が激しいぶつかりあいになったことへの反省から、そういうことが起きないように手続法をつくってしまえ、という面があったと思っている」とのご意見。市民が活かすことができる再エネ条例を、行政と一緒に創っていく意義を改めて感じる議論になりました。



企画者からは現在検討中の「川崎市再エネ条例（仮・市民案）」についてプレゼンテーションを行いました。増原さんからは「市民、行政、事業者、議員など様々な立場の人々に“条例のメリット”を具体的にを見せていく段階に入ってほしい」とアドバイスを頂きました。また、「市民電力連絡会」など横のつながりを通じて、全国で再エネ条例制定の動きを活性化できると良い、とのコメントもいただき、今後への宿題が具体的に増えてくる記念講演会となりました。増原さん、ご参加頂いた会員、川崎地域エネルギー市民協議会の皆様、ありがとうございました。

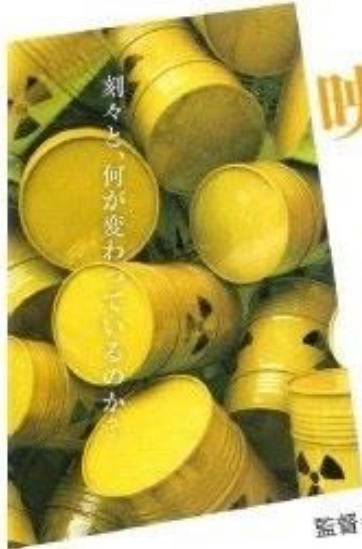
増原さん、ご参加頂いた会員、川崎地域エネルギー市民協議会の皆様、ありがとうございました。

政策検討チーム 鳥海 幸恵



上映時間 2時間18分

原発の仕組み、歴史、福島事故から現在に至るまで、
弁護士視点で描かれる日本の原発のすべて。
大きな反響を呼んだ「日本と原発」の続編!



映画 日本と原発 4年後

監督 = 河合弘之 / 構成・監修 = 海渡雄一
営業 = 新垣 隆

2015年7月25日13時 東京都 新宿区
放射線量 0.0319 μ Sv/時
同日、同時間帯 福島県 双葉郡 楳津町
放射線量 5.0 μ Sv/時

大好評だった映画「日本と原発」の続編、「日本と原発 4年後」

(2015年公開)の自主上映会を川崎市でもおこないます。

2016年 7月 31日(日) 18:00~20:30
8月 1日(月) 13:30~16:00

会場: 高津市民館・大ホール 武蔵溝ノ口駅前、マルイ12階

※上映開始の20分前より入場できます。先着順・定員600名

参加費: 500円 前売り券販売中

愛媛県「伊方原発」の再稼動が、7月下旬に強行される予定と報道されています。福島県でも原発事故から5年経った今も約9万人が避難生活を強いられています。福島第一原発事故は終わっていません。日本人として忘れてはならない問題です。

NPO 法人原発ゼロ市民共同かわさき発電所では、原発ゼロへのカウントダウン in かわさき実行委員会と共催で、映画『日本と原発 4年後』の上映会をおこなうことになりました。福島原発事故の記憶を風化させず、多くの方に改めて原発について考えてもらいたいと思い、映画上映会を企画しました。友人・知人・ご家族をお誘いしやすいように、参加費を安く設定しました。私たちのNPO法人の設立目的である「原発ゼロ」実現にむけて、学び、世論を広げるイベントです。ぜひ、ご参加ください。

※上映する映画は今年1月に当法人が上映会を川崎市平和館で行った映画『日本と原発』の続編で、2015年劇場公開された第二弾の最新作『日本と原発 4年後』です。1月の上映会にご参加された方も、続編の映画ですので、ぜひ、ご参加ください。

鴨下 元



今月号の自己紹介は、昨年のおひさまフェス実行委員長、現在トルコ在住の小川杏子さんです。



自分の身近なところから。できることを。

私と市民発電所との出会いは2014年の公害フェスタでした。

◆震災後、「福島子どもたちとともに」川崎市民の会の「保養」の活動に関わる中で、つながりのできた川崎という場所。当時は「保養」という形で原発の課題に向き合う窓口をつくったものの、原発への疑問を形にする方法が見つからずにはいました。デモに行ったものの、そこにいるのは同じ思いの人で、異なる意見の人と「対話」をしながら解決策を模索するという場ではない点での一方通行感。そして具体的な現実を作らずに批判するだけでは議論が続かないのではという疑問。そんななかで出会ったのが市民発電所の取り組みでした。◆自分たちの足元で具体的な形を作りながら現実を変えていこうという取り組みに大

切なことを気づかされました。この2年ちょっとで、どうやって原発に関する議論を「風化」させずに維持していくか。その部分で具体的に形にしていく場や大きなきっかけをここでもらいました。◆小田原合宿後に立ち上がったイベントチームでの、無関心層への仕掛けづくり。市民発電所で上映会をした「シェーナウの想い」。小田原合宿で出会ったおひさまマルシェ。そしてここで出会った人。さらに「おひさまフェス×星空上映会 in かわさき」という多様な考えを持つ人と出会い、話をする場となっていくであろう“種”をもらいました。◆市民発電所の素敵なおところは、いろんな考えの人が集まり、議論しあっているところ。原発や福島のこれからのことは、それぞれの立場やその時の状況で様々な考えがあることだと思います。私はコントロールしきれない、そして自然に返すことのできない原発をなくしていきたいと思っています。しかし、一方でデモで感じた無力さは「対話」ができないという部分にありました。そして、「対話」をしていかないと議論が「風化」してしまうのではないかと感じます。◆東日本大震災で得たことを忘れないためにも、賛成でも反対でも議論を風化させずに続けるためにも。この「川崎」という場から。一緒に何かをしたい、できると思わせてくれる仲間と。少しずつ変えていくきっかけをつくりながら、違う考えも尊重し向き合う、時には自分の考えも疑う。そんな風に向き合い、できることをと思っています。

イベントチーム 小川 杏子

でん太通信は毎月15日に発行しています。

■NPO 法人 原発ゼロ市民共同かわさき発電所■

ホームページ

<http://genpatuzero-hatuden.jimdo.com/>

フェイスブック

<https://www.facebook.com/genpatuzero.hatuden>

連絡先 TEL 090-7948-6189 (川岸)

【編集後記】

1年間の総括と今後の活動方針を議論する「総会」を無事に終えることが出来、日ごろから支えていただいている皆様に心より感謝申し上げます。総会后、参加した会員様から「数々のイベント企画や将来のビジョンが若々しい。活気があっていいね」と、声援を送っていただきとても嬉しかった。当会の個性を發揮しつつ、更なる「市民革命」を素敵な大勢の皆様と一緒にすすめていきたいと思った。(加藤伸子)

